

一般社団法人日本遺伝性腫瘍学会 2023 年度 第 3 回理事会 議事録

日 時：2024 年 3 月 8 日（金） 15:00~18:30

場 所：web 開催（zoom）

出席者： 理事長 石田 秀行
副理事長 青木 大輔 石川 秀樹
理 事 有賀 智之 井本 逸勢 大住 省三 川崎 優子 隈元 謙介 下平 秀樹
西垣 昌和 平沢 晃 平田 敬治 門馬 智之 山口 達郎 吉田 輝彦
監 事 鈴木 眞一 武田 祐子 田村 和朗

司法書士 寺本 俊孝

事務局：石坂 和子 内山 覚巳 皆川 裕美

Web に理事 15 名、監事 3 名が出席し、出席者の音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態にあり、本会が成立することが確認された。以下、石田理事長が議長となり議事を進行した。

議 事：

【報告・審議事項】

1. 理事長報告

石田理事長より、当日提示スライドにもとづき、30 周年記念事業の進捗状況、MGPT に関する厚労科研申請、会計監査委託先の変更、遺伝性大腸癌診療ガイドラインへの学会としての協力について報告があった。

2. 庶務報告

配布資料にもとづき、会員数・新規入会者（2024 年 2 月 29 日現在）、会費納入状況（2024 年 1 月 31 日現在）について報告があった。2023 年度の年会費請求の督促は、3 月にメール配信済みであることが報告された。また、インボイス制度について 2024 年度からは 2022 年度の収入が 1000 万円を超えるため、来年度より登録することが報告された。

3. 第 30 回学術集会準備状況

下平会長より、当日資料にもとづき第 30 回学術集会の準備状況、30 周年記念式典の準備状況について報告があった。

4. 各種委員会報告・審議

①総務委員会・評議員選出委員会：平田理事

総務委員会より、配布資料にもとづき、評議員選出細則に関する再周知に関する件、名誉会員・特別会員の推戴に関する件、次期・次々期学術集会会長に関する件について報告され、承認された。

評議員選出委員会より、学会バンクとの meeting 内容の報告、次期総会以降の会員への評議員選出方法・会員ページの改修について報告があった。

②財務委員会：青木理事

2024 年度予算（案）について審議され、承認された。

③会則委員会：門馬理事

配布資料にもとづき、活動内容について報告があった。

名誉会員・特別会員の学術集会参加費の免除について、現状では規定の作成はしないこととなり、都度各回の学術集会会長の判断で行うこととなった。

本会定款の 42 条にある地方会に関わる規則の制定について規則（案）が提示された。地方会の認定条件については、定款に合わせて更なる修正を行い、次回の評議員会での承認を目指すこととなった。

学術・教育委員会が主催する市民公開講座等謝金支給基準（案）について提示され、学術集会において企画された市民公開講座については、申し出があった場合には学会側から支援することとなった。

旅費等に関する規程について、「宿泊料金が現在 12,000 円を上限額とする。」となっているが、昨今の物価高の影響で上限額を超える場合の対応について審議された。「1 日あたり原則 15,000 円を上限とし、超える場合は理由をつけて請求書を提出し、事務局で判断する。」というような修正案を次回の理事会に提出することとなった。

④編集委員会：下平理事

配布資料にもとづき、「遺伝性腫瘍」の発刊状況、投稿論文審査状況、投稿勧誘予定について報告があった。また、2023 年度 4 号は 4 月の発行となることが報告された。今後、優秀論文賞など学術集会で表彰することはどうかとの意見があり、編集委員会で検討することとなった。

⑤学術・教育委員会：平沢理事

配布資料にもとづき、多遺伝子パネル検査を用いた遺伝性腫瘍の診療・管理指針（仮称）の作成状況、今後の市民公開講座の予定について報告があった。

⑥保険診療委員会：平沢理事

配布資料にもとづき、委員会活動内容の報告、診療報酬改定について、第 23 回三保連合同シンポジウムに参加、令和 8 年度診療報酬改定に提出学会および共同提案学会として参画していることについて報告があった。

⑦専門医・HTC/FTC 制度委員会：隈元理事・川崎理事

●専門医制度小委員会：隈元理事

配布資料にもとづき、2023 年度第 7 回遺伝性腫瘍専門医試験結果、専門医更新申請結果、正規遺伝性腫瘍指導医申請期間の公示、暫定指導医新規・更新の申請状況、研修施設更新申請結果、研修施設新規申請結果、2024 年度 e-learning コンテンツ作成について報告され、専門医試験に関する会計報告も含め審議・承認された。

●HTC/FTC 小委員会：川崎理事

配布資料にもとづき、HTC 移行申請・経過申請・認定試験の審査結果、FTC の新規申請・更新申請の審査結果、第 30 回学術集会における単位認定対象とする企画を選定予定、第 31 回日本遺伝性腫瘍学会で HTC のリカレント教育となるシンポジウムを企画予定であることについて報告があった。

審議事項：配布資料にもとづき、家族性腫瘍カウンセラー（FTC）制度・称号に関するアンケート実施報告ならびに委員会からの提案について報告があった。FTC 新規審査の受け入れは今年度までとし、5 年後の 2028 年の段階で本人の希望を尊重し、本学会会員である限り称号を授与することが承認された。5 月の評議員会のあとに関連学会へ通達をすることとなった。

⑧遺伝性腫瘍セミナー委員会：吉田理事

配布資料にもとづき、第 26 回遺伝性腫瘍セミナーの開催報告、第 2 回アドバンストセミナーの開催報告、ならびに第 27 回遺伝性腫瘍セミナー・第 3 回アドバンストセミナーの開催予定について報告があった。

⑨将来検討委員会：石田理事長

第 29 回学術集会後の会員へのアンケート結果について報告があった。

⑩ガイドライン委員会：大住担当理事

報告事項なし

⑪COI 委員会：大住担当理事

報告事項なし

⑫倫理審査委員会：井本理事

報告事項なし

⑬広報委員会：有賀理事

配布資料に基づき、委員会活動、ニュースレター配信状況、転載申請の審査結果について報告があった。新転載規程・転載申込書、ホームページリニューアル方針、英文版 HP の作成案が提示され、承認された。

⑭国際委員会・がんゲノム・データベース（GDB）委員会：山口担当理事

配布資料に基づき、委員会活動として遺伝性腫瘍レジストリ研究、学術集会における国際セッション、第 4 回トラベルグラントについて報告があった。また、レジストリ研究の研究実施計画書について文言の修正を行うこととなった。

⑮遺伝カウンセリング委員会：西垣理事

配布資料に基づき、遺伝性腫瘍を専門としないがん診療従事者（非会員を含む）への啓発動画の作成状況について、年度内に作成し公開する予定であるとの報告があった。

⑯作業部会委員会：石川理事

配布資料にもとづき、LFS 部会、Cowden 症候群部会、SPS 部会、PJS 部会の活動状況について報告があった。Cowden 症候群部会について、継続申請があり承認された。

4. その他

- ・石川理事より、本学会 30 周年記念事業に関する進捗状況について報告があった。
- ・30 周年記念誌の作成について、編集部の中田より掲載内容等について説明があった。
- ・飛松由紀子特別アドバイザーの任期 2 年終了が報告され、定款細則第 32 条にもとづき、同氏の再任が承認された。
- ・奥村会計事務所の奥村先生に感謝状をお送りすることとなった。
- ・次回の理事会について、第 30 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会の前日 5 月 30 日（木）12:30 から開催することとなった。また、社員総会（評議員会）は 15 時から開催することとなった。
- ・各種委員会の次期委員の交代について、現在の委員のリストが提示された。8 年継続となる委員長・委員は次の社員総会後に交代することとなった。学術・教育委員会、広報委員会、ガイドライン委員会、COI 委員会から委員長候補・委員候補の提案があった。今回は最小限の変更を検討することとし、4 月中に事務局より委員会新メンバー候補について連絡することとなった。

以上をもって議事の全部を終了し、議長は 18 時 30 分閉会を宣した。

以上